

ホテル名	秋田温泉さとみ							
ホテル概要	地域	東北	業態	温泉旅館	客室数	63室	参加形態	WS参加施設
	所在地	秋田県秋田市添川字境内川原 142-1			URL	http://www.satomi-e.com/		

テーマ	経費の節減（①原価低減、②電力削減、③備品費低減）
カテゴリー	ムダの排除、料理原価の低減
部門	調理、設備

改善の背景	<p>①厨房に関して、料理レシピは適宜変化させているものの、一旦決まったレシピから更に改善されることが少ないのが現状としてある。食材や調味料の価格が変動するなか、より安く品質が良いものを探索する努力がいまひとつであり、各々に原価意識が乏しい状況にある。</p> <p>②省電力に向けた取り組みを指示しているものの、他人任せ（誰かがやってくれるであろう）という考えが何え、自発的な取り組みが見えてこない。また、具体策の指示を行っても、時間経過とともに省電力の意識が薄らぐなど継続した効果に課題がある。</p> <p>③食器類や調理器具、備品に対する取り扱いが雑であり、破損や欠損が多い状況にある。消耗品であるとはいえ、買い替えや買い揃えに費用を要している。</p>
-------	---

改善の内容	<p>①食材や調味料の原価について、目標原価率の設定など厨房が一丸となって取り組む体制とした。直近では、これまでより原価を抑えた新メニューを開発して収益性向上を図っている。また仕入に関して、市場に買い付けに行くなど目利きの上達に向けて幹部社員を中心に教育し意欲向上を促している。</p>
-------	---



これまでより原価を抑えた新メニュー（夕食）を開発



これまでより原価を抑えた新メニュー（日帰り弁当）を開発

②日常業務において、ムダな電力が使われていないか、削減できないかの洗い出しを行い、デマンド管理を強化している。宴会やチェックアウト後の空調、照明などの電源OFFの徹底、エレベーターの1基停止、夏場のポット湯沸かし提供中止、チェックイン時間に合わせた空調・照明類の点灯について再検討を行った。また、空調や冷蔵庫の温度設定の見直し、フィルター掃除などの実施について点検表を基に定期的に行うなど各部署毎の省電力活動を図った。加えて、定期的な省電力会議を開催し、効果の確認と継続した省エネ活動を実施している。



適宜、目標値を変更しながら、ピーク電力カットを実施



夏場のポットの湯を沸かさず提供



搬入用エレベーターを1基停止し、階段移動を推奨



定期的に省エネ会議を開催（会議資料）

③料飲部および管理部を中心に月に2回程度のミーティングを行い、器や備品の取り扱いについて教育を行っている。



器の画像と現在の総数、破損数、実数を把握し管理



客室の基本セット画像を掲示して、サービス品質の均質化および新入社員用の研修資料として活用

改善の効果

①原価低減

8月の料理原価は昨年同月に比べて、金額および原価率ともに低減することができた。今一度原価低減に向けて取り組んだ成果かと思われる。但し、夕食なしの1泊朝食客が多かったことも影響しており、更なる改善が必要と感じている。9月は昨年同月と比べて、金額は増加したものの、原価率は低減している。金額については、9月単月の売上が昨年より増加したことによる仕入増加に起因している。一方、原価率は低下し改善傾向といえる。

②電力削減

8月～10月の実績を下図に示す。いずれの月も削減されており、一定の省エネ効果があったものと思われる。但し、客数が減少していることを考慮すると、図表に示した数値程の効果があったとは言い難い状況にある。今後も省エネ活動が停滞しないように常に対応していくことが課題であると思われる。

③備品費低減

月に2回程度のミーティングを行っている。器の数について再調査を行い、実数や破損数を洗い出して取り扱い上の注意点や破損しやすい器の特定などを行い、次回購入時に役立てるなど、備品費削減の意識付けを実施している。

